

# 中小企業あきた

- 1 2014新春賀詞交歓会を開催！ ..... 1
- 2014新春経営トップセミナーを開催！ ..... 2
- 2 秋田電気工事協同組合が官公需適格組合証明を取得！ ..... 3

- 先進組合事例 ..... 4
- 中小企業組合等支援施策情報 ..... 5
- 景況レポート 12月分 ..... 6
- 話題の広場
- 中央会事業より ..... 7
- アラカルト ..... 7
- インフォメーション ..... 9
- 組合ティールーム ..... 10

2

FEBRUARY.2014



## TOPICS 1 2014 新春賀詞交歓会を開催！



【乾杯の様子】

1月16日(木)、秋田市の秋田キャッスルホテルにおいて、「2014新春賀詞交歓会」を開催しました。当日は、佐竹秋田県知事の代理として橋口昌道副知事、村岡敏英衆議院議員や中泉松司参議院議員をはじめとする多数の来賓、会員組合の役職員など約160名が参加しました。



【挨拶する塩田会長】

開会にあたり、塩田会長は「昨年は、アベノミクスの影響により、歴史的な円安・株高の年となり、本会景況報告でもDI値が16年ぶりにプラスに転じるなど、地方や中小企業にも先行きに明るさが見え始めています。今年は、4月の消費税増税を控え、円滑な転嫁に向けて支援を強化していくとともに、『ものづくり補助金』の秋田県事務局として、引き続き中小企業の試作品開発や設備投資等を支援していきます。また、平成26年度には、ものづくり分野の他に商業・サービス業にも予算規模を拡充して実施される予定となっており、本県経済の活性化と成長のためにも、『頼られる中央会』として皆様のニーズに対応してまいります。」と挨拶しました。続いて、来賓を代表して秋田県副知事橋口昌道氏、衆議院議員村岡敏英氏及び参議院議員中泉松司氏から祝辞が述べられました。

引き続き、経済団体の代表等が壇上に上がり、鏡開きが盛大に執り行われ、株式会社商工組合中央金庫秋田支店長辻憲一氏の乾杯のご発声で開宴し、和やかに新年を祝いました。



【橋口秋田県副知事】



【村岡敏英氏】



【中泉松司氏】



【賀詞交歓会の様子】

## 2014新春経営トップセミナーを開催！

『これからどうなる!? 秋田の進路を考える』 読売新聞特別編集委員 橋本 五郎 氏



【講師の話に熱心に耳を傾ける参加者】

新春賀詞交歓会に先立ち、読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏を講師として、新春経営トップセミナーを開催し、会員組合の役員等約200名が参加しました。

セミナーでは、『これからどうなる!? 秋田の進路を考える』をテーマに講演が行われ、橋本氏は、政治記者としての体験を交えながら、都知事選挙や安倍政権の経済政策等について語り、現在の政治状況については、「地方の再生なくして国の再生はない」と持論を展開しました。また、政治の役割については、出身地の三種町鯉川に創設した「橋本五郎記念文庫」について触れながら、「地元には何か恩返しをしたいという気持ちがあり、それを実行に移した。自分は東京に出稼ぎに行っているという認識でいる。秋田のために何ができるかをもっと考えるべきである。」と述べ、さらに、「私の母もそうであったが、地方には一人暮らしの高齢者が多い。そのような人たちを大切にするような、もっと思いやりのある心の政治を行うべきである。」と笑いを交えながら述べました。参加者は、熱心に聴講し、大変有意義なセミナーとなりました。



【講演する橋本五郎氏】



【セミナーの様子】

# 秋田電気工事協同組合が官公需 適格組合証明を取得！

去る12月24日(火)、仙台市の東北経済産業局において、官公需適格組合審査諮問委員会が行われ、本県から秋田電気工事協同組合(布谷博理事長)が申請し、諮問委員による厳正な審査の結果、官公需適格組合としての条件を満たしていることが認められ、官公需適格組合証明を取得しました。

当組合は、全国的にも珍しい取り組みとして自治体の防犯灯LED化事業を共同受注するなど、十分な実績を積んでおり、このことが、官公需適格組合証明の取得に際し、有利な条件となりました。

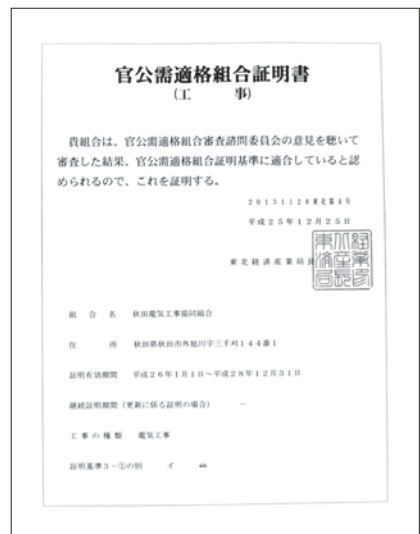
布谷理事長は「官公需適格組合の取得により、公共工事等を共同受注する体制が整備されていることが認められ、信用性が高まりました。今後は、現在受注しているLED防犯灯の管理等に継続して取り組んでいくとともに、新たな受注獲得も目指していきたい。」と今後の抱負を述べました。

これにより、秋田県内の官公需適格組合は、秋田管工事業協同組合、能代山本生コンクリート協同組合、秋田県トラック運送事業協同組合、秋田県石油商業協同組合と併せて、5組合となりました。

## 【組合の概要】

所在地：秋田市外旭川字三千刈144-1  
出資金：51,720,000円  
組合員数：176名  
主な事業：共同受注、共同購買、共同利用等  
成立年月日：昭和49年3月1日

ここでは、官公需適格組合制度についてご紹介しますので、今後の組合運営の参考としてください。



【官公需適格組合証明書】



【電気工事の様子】

## 官公需適格組合とは？

官公需適格組合制度は、官公需の受注に対して特に意欲的であり、かつ受注した契約は十分に責任を持って履行できる体制が整備されている組合であることを中小企業庁(経済産業局)が証明する制度です。

○証明基準(証明を取得するために満たすべき要件)は以下のとおりです。

- イ 組合の共同事業が組合員の協調裡に円滑に行われていること
  - ロ 官公需の受注について熱心な指導者がいること
  - ハ 常勤役職員が1名以上いること
  - ニ 共同受注委員会が設置されていること
  - ホ 役員と共同受注した案件を担当した組合員が連帯責任を負うこと
  - ヘ 検査員を置くなど検査体制が確立されていること
  - ト 組合運営を円滑に遂行するに足りる経常的収入があること
- ※**工事関係組合**は上記イ～トの基準に加えて、さらに以下の事項を満たすこととなっています。
- チ 共同受注事業を1年以上行っており、相当程度の受注実績があること
  - リ 工事1件の請負代金の額が1,500万円(電気、管工事等は500万円)以上のものを受注しようとする組合は、常勤役員が1名以上、常勤職員が2名以上おり、その役職員のうち2名は受注しようとする工事の技術者であること
  - ヌ 総合的な企画及び調整を行う企画・調整委員会が現場ごとに設置され、工事全体が契約通りに施工される体制が整備されていること

なお、本会では、官公需適格組合証明の取得について、今後も積極的に支援してまいりますので、取得を目指している会員組合の皆様は、まず、本会事業振興部までお気軽にご相談ください。

# 先進組合事例

## ■鶴岡織物工業協同組合

### ～キビソを活用した新素材と高付加価値型シルク製品開発～

地域資源活用事業の認定を受け、絹糸製造工程で抽出されるキビソを活用して新素材と高付加価値型シルク製品を開発。全国に販路開拓を実施し、組合と産地の知名度向上を図る。

#### 【組合の概要】

住 所：〒997-0017山形県鶴岡市大宝寺日本国223-5

電話番号：0235-22-0507

設 立：昭和26年10月

組織形態：同業種同志型組合

主な業種：絹織物製造・精練・捺染

組合専従者：1人

U R L：http://kibiso.jp/

F A X：0235-22-0507

出 資 金：3,247千円

地 区：鶴岡市、酒田市

組合員数：4人

キビソとは……製糸工程において、繰糸の際に繭から糸口を見い出すためにすぐりつつ糸を乾燥させたもので、シルクの持つ抗菌性、高難燃性、光沢などの特性を有し、独特の風合いを有している。

## ■背景と目的

鶴岡市は全国でも数少ないシルク産地であるが、近年は安価な輸入品に押されて衰退傾向にある。こうしたなか、新たなシルク製品を生み出し産地の存続を図る必要性を感じていたところ、丁度ファッション業界の著名人が鶴岡を来訪した際にキビソに目をとめたことがきっかけとなり、本格的にキビソを活用した新製品化に取り組むこととなった。平成19年より地域資源活用事業計画の認定申請の準備を進め、平成20年2月に国の認定を受けることができた。

## ■事業・活動の内容

地域資源活用事業では、商品開発及び販路開拓・ブランディングに取り組んだ。商品開発では、真綿やオーガニックコットンと混ぜた糸を作ったり、衣料・小物雑貨等、様々な製品開発に着手した。著名なテキスタイルデザイナー等の外部人材を活用するとともに、県内外の企業とも連携して、バッグやタオル、スリッパ等様々な分野の商品を開発した。販路開拓とブランディングでは、首都圏の百貨店や駅ビルなどで展示会を開催して、商品の紹介と営業活動を展開するとともに、マスコミなどの取材を中心に働きかけを行った。

## ■成果

商品は、首都圏の大手百貨店等との直接取引やWebサイトでの販売が開始されるなど、新たな高付加価値型シルク製品として市場の認知度が高まり、さらに国内でも数少ないシルク産地としての当地域をアピールする大きな機会にもなっている。今後はファッション分野以外の製品にも活動を広げる予定である。



キビソ



キビソ製品

# 中小企業組合等支援施策情報

## ■平成25年度補正予算案・平成26年度予算案 中小企業・小規模事業者対策のポイントについて ものづくり・商業・サービス業を支援します

### ○ものづくり・商業・サービス革新補助金 **25年度補正**

①試作品・新商品の開発や生産プロセスの改善、新しいサービスや販売方法の導入など、中小企業・小規模事業者が事業革新に取り組む費用の2 / 3を補助します。

対象分野：ものづくりに加え、商業・サービス分野を追加

補助上限額：1,000万円(特定分野への投資は1,500万円)

※小規模事業者のみが利用できる特別枠を設定します(補助上限額：700万円)。

ただし、設備投資を伴わない開発費用に限ります。

②金融機関から借入を行い耐用年数を超過した設備を入れ替える大規模投資(総資産の15%を超える設備投資)を行う場合に、借入額の1%相当額を上限に補助します。

### ○ものづくり中小企業・小規模事業者等連携事業創造促進事業(サポイン事業) **26年度**

③連携を通じて、ものづくり技術を活用した研究開発・製品化から販路開拓を行う費用の2 / 3を補助します。

補助上限額：4,500万円

【お問い合わせ先】中小企業庁 ①、③創業・技術課 ☎03-3501-1816 ②金融課 ☎03-3501-2876

## 頑張る商店街を応援します

### ○商店街活性化支援補助金 **25年度補正**

地域住民の安心・安全な生活環境を守るための事業(防犯カメラの設置などに加え、子育て・高齢者支援施設の整備や高齢者向け宅配サービスの提供などを追加)に要する費用の2 / 3を補助します。

補助上限額：1.5億円

消費を喚起するイベントや商店街のセールの実施に要する費用(チラシの作成、配布などを含む)を全額補助します。

補助上限額：400万円

### ○地域商業自立促進補助金 **26年度**

商店街の空き店舗への店舗誘致や、コミュニティスペースの整備などの取組に要する費用の2 / 3を補助します。

【お問い合わせ先】中小企業庁 商業課 ☎03-3501-1929

## 創業を目指す方を支援します

### ○創業促進補助金(第二創業も対象) **25年度補正**

①創業費用の2 / 3を補助(補助上限額：200万円)

②産業競争力強化法に基づき、市区町村と連携する創業支援事業者による、経営相談や交流会の開催などの取組を支援します。

補助上限額：1,000万円 補助率：2 / 3

【お問い合わせ先】中小企業庁 ①経営支援課 ☎03-3501-1763 ②新事業促進課 ☎03-3501-1767

## 資金繰り・事業再生を支援します

### ○「経営者保証に関するガイドライン」の適用開始 **25年度補正**

このガイドラインでは、経営者の個人保証について、次のとおり規定しています。

①法人と個人が明確に分離されている場合などに、経営者の個人保証を求めないこと

②早期に事業再生や廃業を決断した際に一定の生活費等(従来の自由財産99万円に加え、年齢等に応じて100万円～360万円)を残すことや、「華美でない」自宅に住み続けられることなどを検討すること

③保証債務の履行時に返済しきれない債務残額は原則として免除すること(2月適用開始予定)

御希望の方には専門家を派遣しアドバイスします。

第三者保証人についても、上記②、③については経営者本人と同様の取り扱いとなります。

【お問い合わせ先】中小企業庁 金融課 ☎03-3501-2876

※詳しい情報は、中小企業庁HP内 <http://www.chusho.meti.go.jp/24fyHosei/index.htm>

もしくは、ポータルサイト「ミラサポ」 <https://www.mirasapo.jp/>をご覧ください。

# 景況レポート

(12月分・情報連絡員80名)

## DI値は前月を下回るものの、好調を維持

【概況】12月分の県内景況は、前年同月と比較して、景況が「好転」したとする向きが27.5%(前月調査26.6%)、「悪化」が28.8%(同25.3%)で、業界全体のDI値は-1.3となり、前月調査と比較して2.6ポイント下回った。

内訳として、製造業全体のDI値は-9.4で前月調査と比較して6.7ポイント上回った。非製造業全体のDI値は、4.2で前月調査と比較して8.3ポイント下回った。

引き続き、消費税増税前の駆け込み需要を控えた民間投資や一般建築、新車販売等が活発で、関連業界の売上は好調であり、そうでない業界との二極化が見られる。また、観光関連では、秋田DCの効果があまり感じられないとの声があった。

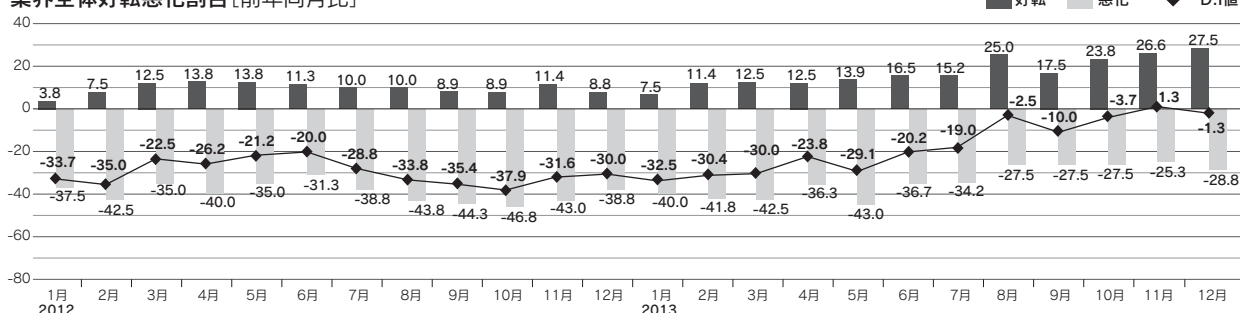
全体の景況感は、公共投資の増加や消費税増税前の駆け込み需要によって、8月以降は比較的好調に推移しているが、原材料等コスト上昇分の吸収が困難との声が聞かれ、売上に比較して、収益状況や資金繰りはやや低調に推移している。(回答数：80名 回答率：100%)

項目	業界の景況	売上高	販売価格	取引条件	資金繰り	雇用人員
製造業	☁	☁	☁	☔	☔	☔
非製造業	☁	☁	☁	☀	☁	☁

【凡例】  
 ☀ 快晴 30以上  
 ☁ 晴れ 10以上 30未満  
 ☁ 曇り △10以上 △30未満  
 ☔ 雨 △10未満 △30未満  
 ☔ 雷雨 △30以下  
 【天気図の見方】  
 前年同月のDI値をもとに作成しています。

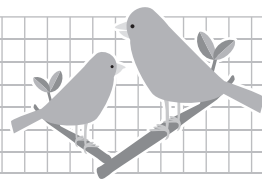
※DI値とは、Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、増加(好転)したとする企業割合から、減少(悪化)したとする企業割合を差し引いた値です。

業界全体好転悪化割合[前年同月比]



### 業界の声

パン製造	セブンイレブンの進出により売上が落ち込んでいる。また、原材料の値上がり分を製品価格に転嫁できず、苦しい状況。
繊維製品	年末の商品の動きが悪く、消費税増税前の駆け込み需要が感じられない。
木材・木製品	製品の販売価格が小刻みに値上がりしているが、原木の値上がり分を吸収できず、採算分岐点に届かない、増収減益の状況が続いている。
外材	住宅建築需要は、木材利用ポイント制度や消費税増税前の駆け込み需要から、依然として勢いが続いており、国産材製品が品薄で価格が高騰しているため、外材製品に対する期待も強まっている。なお、外材丸太市場は、円安ドル高傾向で難しい局面にある。
生コンクリート	12月の出荷数量は前年同月比110%台、4月から12月までの累計では前年比108%前後と想定される。震災復興により骨材需給もタイトな状況が続いている。その影響で原材料費が高騰しているため、取引先からもある程度理解が得られ、各地区で生コンの値上げが浸透しつつある。
機械金属	各社とも2月頃まで受注を確保しており、取引条件が、前年同月よりもやや好転した。
自動車販売	12月の新車販売台数は、登録自動車が1,928台(前年同月比122.6%)、軽自動車が2,116台(同146.0%)で、合計4,044台(同133.9%)であった。年間では、登録自動車が26,757台(96.6%)、軽自動車が28,752台(109.0%)、総計55,509台(102.6%)となっている。
石油販売	ガソリン1ℓあたり158円20銭で前月比1円30銭の低下、軽油1ℓあたり142円で前月比20銭の上昇、配達灯油は18ℓで1,897円と前月比31円の上昇となっており、今後、灯油価格の高止まりが予想される。
タクシー	12月の速報値では、運行回数、運送収入共に前年同月を下回っているが、乗務員の減少により一人当たりの運送収入がやや増加となっている地域もある。なお、秋田DCの効果は感じられないという声が多い。
電気工事	消費税増税前の駆け込み需要で、住宅建築にかかる工事の受注件数が増加しているが、相変わらずの電気工不足で、工期の遅れが見受けられる。



## 中央会事業より

### 組合活力向上事業を開催 ～企業組合秋田福祉サービス～

昨年10月19日(土)、11月16日(土)、12月21日(土)の計3回にわたって、企業組合秋田福祉サービス(鎌田憲悦理事長)を対象として、組合活力向上事業(研修会)を開催しました。

この事業は、認知症介護支援を受けている高齢者に適切な対応を行うため、認知症に対する理解度を深め、各職員が認識を共有することで、利用者に対する質の高いケアへ繋げることを目的として実施しました。

事業では、介護関係の資格を多数持ち、現場経験が豊富な医療法人優和会グループ介護事業部統括マネージャーの田島利子氏を講師に迎え、認知症高齢者の周辺症状への対応、ケアプランの作成方法及びチームアプローチなどについての研修を行いました。

田島氏は、現場での実例を交え、「認知症ケアプランの作成においては、症状や環境など十分な分析を行った上で、利用者の視点でプランを作成することが重要である。また、実践にあたっては、医療・看護・介護といった多職種での協働・連携を徹底し、情報の提供と共有を行ってほしい。」と説明し、出席者にとっては、今までの取り組みを見直す良い機会となりました。

組合では、今後、この研修で学んだことを現場で実践し、質の高いケアサービスにつなげていく方針です。



【グループディスカッションの様子】

### 組合活力向上事業を開催 ～秋田家電事業協同組合～

昨年9月13日(金)と本年1月15日(水)の計2回にわたり、秋田家電事業協同組合(千葉三四郎理事長)を対象として、地域密着型の家電販売店として生き残りを図っていくため、競争相手となる大手家電量販店との差別化と自店の業績改善を図ることを目的に、組合活力向上事業(研修会)を開催しました。

事業では、J S パートナー株式会社代表取締役の福島文二郎氏を講師に迎え、『地域密着型家電販売店としての自己改革』をテーマに顧客満足向上について講演が行われました。

福島氏は、大手テーマパークでの接客サービス等、現場での経験を交えながら、「家電販売店が目指すべきなのは、全ての顧客にハピネスを提供することであり、口べたでも、笑顔が出来なくても良い。大事なのは“誠実さ”であり、顧客の気持ちを汲み取り、顧客の希望に最大限応えるサービスの提供という気持ちが新しいサービスを生み出す。」と述べました。

第1回研修会の成果が現場でどのくらい実践できているかをチェックシートで確認し、その結果を講師が確認した上で、第2回研修会では顧客満足向上のための総まとめを行いました。

組合では、今後、組合員の生き残りのため、研修で学んだ成果を各店で実践させていく方針です。



【研修会の様子】



● a la carte ●

### ■創立60周年記念祝賀会を開催 ～秋田県石油商業協同組合～

1月20日(月)、秋田市の秋田キャスルホテルにおいて、秋田県石油商業協同組合(國安教善理事長)の創立60周年記念祝賀会が盛大に開催され、本会高橋専務理事をはじめ来賓・関係者等約110名が出席しました。

秋田県石油商業協同組合は、組合員の取り扱う石油製品及び副製品並びに必要な資材の共同販売を行うことを目的に昭和28年に設立された後、昭和60年に官公需適格組合の資格を取得し、官公需の共同受注事業を積

極的に展開しており、平成23年には中小企業庁から官公需ベストプラクティスに選定される等、県内外から注目を集めています。

祝賀会当日は、國安理事長挨拶の後、秋田県堀井副知事、全国石油商業組合連合会副会長等の来賓より祝辞が述べられました。

その後、秋田市石井副市長の乾杯で宴に入り、終始和やかな雰囲気の中で歓談され、盛会のうちに終了しました。



【記念祝賀会の様子】

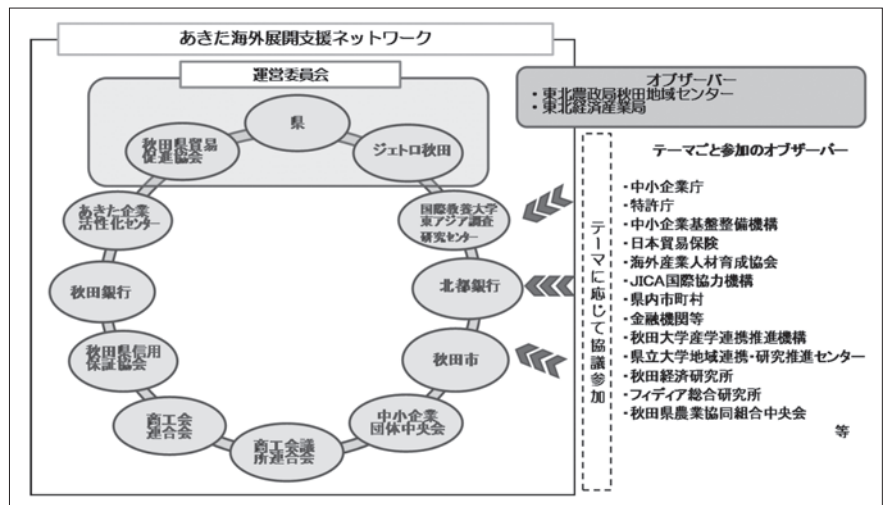
## ■あきた海外展開支援ネットワーク設立総会を開催

1月21日(火)、秋田市の秋田県議会棟2階特別会議室において、「あきた海外展開支援ネットワーク」の設立総会が開催され、本会からは塩田会長が出席しました。

この会議は、県内各支援機関が連携し、秋田を拠点に海外展開に取り組む県内企業に対する支援を強化するために開催されたもので、県、市及び本会等がメンバーとなっています。

総会には、佐竹知事をはじめ、ネットワークを構成する支援機関の代表等が出席し、運営要領及び事業計画案について審議し、満場一致で原案を承認しました。

ネットワークでは、①支援機関相互の情報共有、②相談対応機能の強化、③海外展開支援機関情報発信の強化、④支援機関相互の事業連携の強化、⑤海外展開取組企業の拡大の事業を行いながら、企業の海外展開を積極的に支援する予定です。



## ■組合青年部を創設！ ～秋田家電事業協同組合～

1月15日(水)、秋田家電事業協同組合(千葉三四郎理事長)青年部会の創立総会が秋田市の同組合事務所で開催されました。

この創立総会は、当組合が昨年秋に開催した理事会において、青年部の設立が決議されたことを受けて開催されたものです。青年部会は、組合員企業の若手経営者や後継者同士の交流や人脈づくりを目的として、会員7名でスタートしました。

当日は、会則や事業計画・収支予算を承認したほか、役員を選出しました。また、秋田県中小企業青年中央会へ加入することが決定され、16日付で正式に加入しました。

当組合青年部会では、今後、本会の青年部研究会事業を活用した研修会の開催等を通して、活発に活動していきたいと考えています。ここで、秋田県中小企業青年中央会の概要について、ご紹介します。

### 『秋田県中小企業青年中央会』とは？

次代を担う青年経営者が、経済環境の変化に柔軟に対応するため、会員相互の研修を行い、連携を強め、人脈の醸成及び新たなビジネスチャンスの発掘を行うための組織です。

会員資格：中小企業団体の青年部

中小企業団体の組合員及び組合員の後継者であって、概ね満50歳以下の者

会員数：団体会員 31 個人会員 1

活動内容：①業種や地域の枠を超えた広域交流を図る交流会の開催

②青年部研究会事業(組合青年部向けの補助事業)

③各種講習会等への参加(青年部全国講習会、青年中央会全国代表者会議)

【お問い合わせ先】秋田県中小企業青年中央会事務局(本会商業振興課内) ☎018-863-8701



## 障害者の雇用促進について要請【秋田県・秋田労働局】

12月27日(金)、秋田県の関根浩一産業労働部長と秋田労働局の木下和也職業安定部長が秋田市の県商工会館を訪れ、本会をはじめ経済5団体の代表に障害者の雇用促進を要請しました。

この要請は、県内民間企業の常用労働者に占める障害者の割合が1.67%(全国1.76%)で法定雇用率2.0%を下回っているために行われたもので、本会からは高橋専務理事が出席しました。

要請書では、障害者の雇用促進に向けた採用職域の拡大と求人提出が求められています。

本会会員組合及び組合員企業の皆様におかれましては、県内企業における法定雇用率の達成に向けて、障害者の雇用について特段のご協力をお願い致します。



【説明を聞く高橋専務理事(左から2人目)】

【お問い合わせ先】 秋田労働局職業安定部職業対策課 ☎018-883-0010

## 平成25年度秋田県優良中小企業者表彰で本会役員企業が表彰されました【秋田県】

12月20日(金)、秋田県庁において「平成25年度秋田県優良中小企業者表彰」の表彰式が行われ、本会理事の佐賀善美氏(コーディネーター秋田協同組合)が社長を務める「秋田ファイブワン工業株式会社」が優良中小企業者として表彰されました。

この表彰制度は、長年にわたり着実な経営実績と雇用の維持・拡大を通じ、地域経済の発展に貢献してきた県内の中小企業者に対し、県から感謝の意を表し、この表彰を励みに一層の業績向上に努めていただくことにより、県経済の活性化と雇用増に結びつけようという趣旨のもと、平成21年度に創設されたものです。

この他、以下の5社が受賞しました。

- 1 株式会社サノ・ファーマシー(代表取締役社長 佐野元彦)
- 2 株式会社沢木組(代表取締役 沢木則明)
- 3 有限会社ポークランド(代表取締役 豊下勝彦)
- 4 秋田東北商事株式会社(取締役社長 近藤嘉之)
- 5 株式会社秋田ニューバイオファーム(代表取締役 鈴木幸夫)

【お問い合わせ先】 秋田県産業労働部地域産業振興課 ☎018-860-2241

## セーフティネット保証5号の対象となる業種の更新について【秋田県】

平成25年度第4四半期(平成26年1月1日～平成26年3月31日)の「セーフティネット保証5号」の指定業種が公表されました。

◆適用期間 平成26年1月1日～国の平成25年度補正予算成立後、一定期間経過するまで

指定業種 642業種(日本標準産業分類 平成19年11月改訂)

◆適用期間 国の平成25年度補正予算成立から一定期間経過後～平成26年3月31日

指定業種 195業種(日本標準産業分類 平成19年11月改訂)

### <秋田県の中小企業融資制度でセーフティネット保証5号が利用可能な資金について>

セーフティネット保証5号については、業況の悪化している経済産業大臣が指定する業種に属する事業を行う中小企業者であって、経営の安定に支障が生じていることについて、市町村長の認定などを受けた事業者が経営安定資金(緊急経済対策枠)などを利用することができます。

【お問い合わせ先】 秋田県産業労働部産業政策課 ☎018-860-2211

## 確定申告について【国税庁】

2月17日から、所得税及び復興特別所得税並びに個人事業者の消費税等の確定申告の受付が始まります。

税務署では、納税者の利便性向上のため、確定申告書などが簡単に作成できる「確定申告書等作成コーナー」を国税庁ホームページで公開しております。また、自宅やオフィスのパソコンからインターネットを利用して申告・納税ができる「e-Tax」をおすすめしております。

是非、この機会にご利用ください。

**確定申告**

申告書の作成は  
国税庁ホームページが  
おすすめ

確定申告 検索

Step1 国税庁ホームページで申告書を作成

Step2

ネットを使って  
e-Taxへ送信

パソコン 電子証明書 ICカードリーダー e-Taxメニュー  
○24時間受付 ○添付書類の提出機能 ○属性がスピーディー

を準備してネットで申告

印刷して送付

振替納税をご利用の方  
《振替日》  
所得税および復興特別所得税  
4月22日(火)  
消費税および地方消費税(個人事業者)  
4月24日(木)



## 組合ティールーム 秋田県花卉小売商業協同組合

理事長 佐藤 和喜 さん

### ○業界の現状について

当組合は、秋田市中央卸売市場花卉部の創設にあたり、市場法に則った効果的な共同事業を実施し、花卉小売業者の経済的・社会的地位の向上を図るために平成4年に設立されました。

かつては、一般企業や個人からの花卉の発注が多くありましたが、最近では花卉部門を設け、自社で全てを行う大手葬祭業者が台頭しています。また、大型量販店などで廉価な生花が大量に販売されるようになり、商店街等にある中小小売店の売上が減少していることを危惧しています。

### ○理事長としての抱負について

量販店との差別化を図るため、フラワーアレンジメント等の技術力の向上や対面販売でのサービス力強化などを目的とした研修会を数多く開催し、組合員を積極的に支援していきたいと考えています。

また、消費者に花への関心を高めてもらうため、生産者、卸売業者、小売店等が共同で毎年開催している「花の祭典」などのイベントを通じて、県内産の花ブランドなどの情報発信を積極的に行い、花の良さをもっと多くの方に知ってもらいたいと思います。

### ○座右の銘について(普段心がけていること)

座右の銘は「一意専心」です。これは、ほかのことを考えず、その事だけに心を集中することという意味であり、小学校6年生の時に担任の先生から教わった言葉です。何事も自分で決めたことには一生懸命、全力で取り組んでいくことが私の信念です。

### ○趣味について

趣味はドライブです。特に自分が運転する自動車にはこだわりがあり、今は2人乗りのスポーツカーに乗っています。まとまった休みが取れた際には、夫婦でドライブしながら、2泊3日くらいの温泉旅行に行きます。



## 秋田流通サービス事業協同組合

(株)出羽運輸	里見運送(有)	合資会社塩喜運送
(有)川津商事	千歳運送(有)	(有)丸橋運輸
六郷小型貨物自動車運送(株)	姉崎商運(株)	(株)三ウラ産業
(株)仙建	豊幸商事運輸(有)	日通横手運輸(株)
(有)藤原運送	ヨコウン(株)	大曲小型貨物自動車運送(株)
角間川運送(株)	田沢湖運送(株)	十文字運送(株)
エコー運輸(株)	湯沢運送(株)	川連運送(株)
(株)岡部興業	(有)北國急行	(株)美郷運輸

※順不同

〒013-0001 秋田県横手市杉沢字中杉沢 592 番地の 3  
TEL 0182-33-2561 FAX 0182-33-1299

総合物流サービス業

# YOKOUN

## ヨコウン株式会社

☎013-0072 秋田県横手市卸町 8 番 14 号 ☎0182-32-3667 Fax32-5672  
http://www.yokoun.co.jp http://www.facebook.com/yokoun

官公需適格組合  
『カデル』

## 秋田管工事業協同組合

理事長 高橋 正男  
副理事長 山岡 緑三郎  
" 本多 秀文

秋田市山王臨海町3番18号  
☎018(862)6161/FAX 018(824)5685

リース・保険で  
安心と安全をお約束

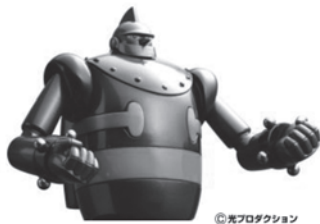


株式会社  
北日本リース  
TEL.018-883-1888 FAX.018-883-1822

株式会社  
北日本ベストサポート  
TEL.018-896-5080 FAX.018-896-5087

〒010-0967 秋田市高陽幸町8番17号岸ビル内

信用保証で  
秋田県の中小企業を応援します



©ネプロダクション

信用保証協会は、中小企業の資金  
繰り円滑化のために設立された公的  
機関です。

お客様の目的に応じた保証制度を  
多数用意しておりますので、どうぞ  
利用下さい。

 秋田県信用保証協会  
http://www.cgc-akita.co.jp

TEL:(018)863-9011 FAX:(018)863-9010

秋田キャッスルホテル

進化と深化。



Akita  
Castle Hotel

秋田市中通一丁目3-5 Tel:018(834)1141 www.castle-hotel.jp

For Earth, For Life  
Kubota

## 野菜と暮らそう。



まごころと技術でこたえる・・・

株式会社 秋田クボタ

〒011-0901 秋田市寺内字神屋敷295-38  
Tel: 018-845-2121 Fax: 018-845-6600



つみかさねが、  
人生をつくる。  
私たちは、知っています。

BESTパートナー  
三井生命



【中央会共済制度のお問い合わせは】

三井生命保険株式会社  
秋田営業支社

〒010-0921 秋田県秋田市大町1-3-8  
<http://www.mitsui-seimei.co.jp/>

秋田営業部 TEL:018-863-1626

大曲営業部 TEL:0187-62-1337

大館営業部 TEL:0186-49-2459

湯沢お客様サービス室 TEL:0183-72-3230

能代お客様サービス室 TEL:0185-52-5351

本荘お客様サービス室 TEL:0184-23-2950

D I G I T A L S T R A T E G Y



デジタルネットワークでのアドバンテージ。

 **秋田活版印刷株式会社**

〒011-0901 秋田市寺内字三千刈110-1 TEL.018-888-3500 FAX.018-888-3505

2014

2  
feb

中小企業あきた

平成26年2月1日発行（毎月1日発行）第645号

発行/秋田県中小企業団体中央会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1-47 ☎ 018-863-8701 FAX 018-865-1009

印刷/秋田活版印刷(株)

定価280円